

ホダの風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

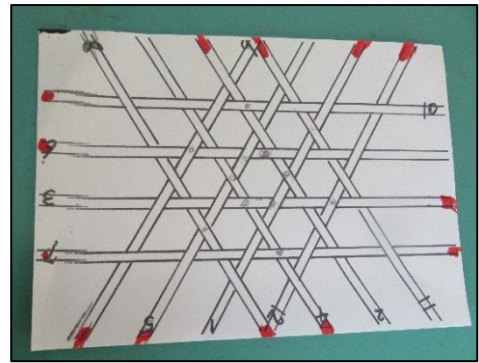
地域の方にお世話になっています

【クラブ活動 家庭科・図工科クラブ 11月7日(火)】

今回は、光保智恵子さんをお迎えして「竹細工」の指導をしていただきました。昨年度はとても細かい作品で2回に分けて「竹かご」の制作を教えていただき、完成品に歓声があがりました。今年度は、「竹かご」ですが昨年度より違う形のものでした。とても緻密な図柄と水分を多く含ませた薄い竹も全員に用意してくださっていました。

まず、図柄に合わせて竹を置いていきました。節の位置に注意することと、竹の上や下を通すことに集中して行いました。図柄の順番は1から12まででした。1本1本 本当に真剣でした。

時間が足りなくて未完成のまま終了した子供もいたので、次の日の昼休憩に図書室で完成を目指しました。やっぱり出来上がりには、ホッとした表情と「やった！」の歓声があがりました。



【薬物乱用防止教室 5・6年生 11月8日(水)】

学校薬剤師の永井先生とライオンズクラブの方も来てくださり「薬物乱用防止教室」の学習を行いました。

まず、「薬物乱用とは？」についての説明からスタートされました。これは、法律や条例に記載されていない薬物を使うこと。そして、「依存症とは？」その覚せい剤から抜け出せること。依存症になると、脳・腎臓・肝臓の異常な



などの身体的ダメージと幻覚・幻聴などの精神的なダメージがあること。これは死に至ること。どんなに意志が強くてもこの依存症には負けてしまうこと。さらに、衝撃的な映像も見せていただきました。思わず、目を背けたくなる場面もありました。

今の日本の状況としては、20歳代が大麻に誘われるパーセンテージが高い、その理由は、危険意識が低いこと。しかし、ドラッグは確実に人間をむしばんでいく怖いものです。永井先生が最後に力説してくださいました。

- 一人で抱え込まず、勇気を出してSOSを出す。
- 信頼できる大人を作る。
- 相談や支援に関しての知識をあらかじめ知っておく。
- ちょっとだけなら1回だけなら・・・(命とり)自分だけでなく周囲も不幸にする。
- 「ダメ。ゼッタイ。」

子供たちの心に深く刻まれたと思います。家庭でもぜひ話題にしてほしいです。

6年生児童のお手紙

多くの子供たちが「覚せい剤」の怖さを実感したようでした。昔、覚せい剤防止のコマーシャルで「覚せい剤やめますか？

それとも、人間やめますか？」

この文言があったのを思い出しました。覚せい剤、ダメ、ゼッタイ！